立地適正化計画とは

1.立地適正化計画とは	•	•	•	•	•	•	1
2.上山市立地適正化計画の位置づけ	•	•	•	•	•	•	(3)
3.策定体制	•	•	•	•	•	•	4



1. 立地適正化計画とは

立地適正化計画の制度創設の背景

- ●「立地適正化計画制度」は全国の地方都市が抱える人口減少・少子高齢化の課題を背景として、平成26年8月の 都市再生特別措置法の改正とともに創設された新しいまちづくりの制度です。
- 全国的な人口の急激な減少と高齢化を背景として、高齢者や子育て世代にとって、<u>安</u> 心できる健康で快適な生活環境を実現すること、財政面・経済面において持続可能な 都市経営を可能とすることが大きな課題
- こうした中、医療・福祉施設、商業施設や住居等がまとまって立地し、高齢者をはじめとする住民が公共交通によりこれらの生活利便施設等にアクセスできるなど、都市基盤整備に留まらず、福祉や交通なども含め分野横断的に都市全体の構造を見直し、『コンパクト・プラス・ネットワーク』の考えに基づき、まちづくりを進めていくことが重要
- このような背景を踏まえ、平成26年8 月に都市再生特別措置法が改正され、行政と住民や民間事業者が一体となったコンパクトなまちづくりを促進するため、立地適正化計画制度を創設

1. 立地適正化計画とは

立地適正化計画が目指す将来のまちの姿

● 立地適正化計画を策定することで、まちなかの拠点性や利便性を高め、便利な暮らしを選択できる都市構造への転換を目指します。



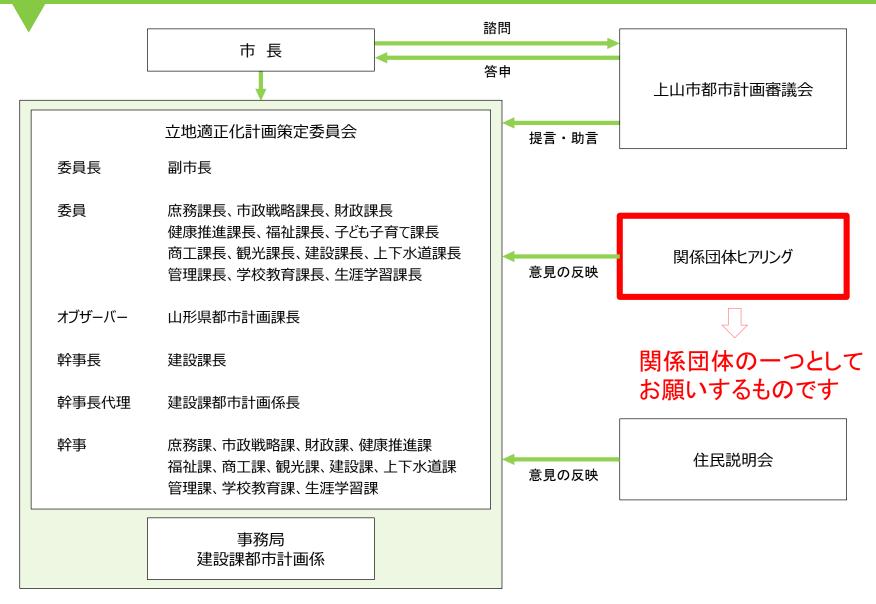
2. 上山市立地適正化計画の位置づけ

立地適正化計画の位置づけ

● 第7次上山市振興計画などの上位計画に即して策定した「第2期上山市都市マスタープラン」を高度化する計画として、 関連計画とも整合を図りながら、居住誘導区域や都市機能誘導区域、誘導施設、誘導施策を定めます。

山形広域都市計画区域 上山市 第フ次 マスタープラン 上山市振興計画 国土利用計画 (山形県決定) (都市計画区域の整備、開発及び保全の方針) ○県内の都市づくりの基本理念 ○山形広域都市計画区域などの 将来都市像 など 即す。 関連計画 第2期上山市都市マスタープラン 上山市まち・ひと・しごと 【目標年次】2031年 創生総合戦略 ※振興計画の計画期間を考慮 ○都市づくりの目標 ○全体構想 【対象区域】都市計画区域 上山市 ○エリア別構想 など 中心市街地活性化 基本計画 整合 高度化 上山市公共施設等 総合管理計画 立地適正化計画 山形県住生活基本計画 【目標年次】2031年 第7次山形県保健医療計画 ○居住誘導区域の設定 ※都市マスの目標年次と整合、 ○都市機能誘導区域の設定 ただし人口動向等は長期的視点に 第7次介護保険事業計画 ○誘導施設や誘導施策 など たち2045年時点を目標とする 第3次上山市 ※概ね5年毎に評価指標による効果検証を 地域福祉活動計画 【対象区域】都市計画区域 行うことを基本とし、上位関連計画の計 ※誘導区域の設定は市街化区域内を 画期間等との整合を図りながら必要に応 上山市地域防災計画 対象とする じて見直しを行う など

3. 策定体制



▲ 上山市立地適正化計画策定体制図